

<b>科目名</b>	<b>レポート作成法</b>	科目コード 41490
------------	----------------	----------------

<b>学科名・学年</b>	物質工学科 1年	<b>担当教官</b>	荒木 秀明 (物質) 菅原 正義 (物質)		
<b>単位数</b>	1 単位・必履修	<b>開講期間</b>	後期	<b>時間数</b>	30 時間
				<b>内訳</b> <small>(時間)</small>	講義(14), 演習(14) 実験(0), その他(2)
<b>教科書</b>	物質工学科編集: 実験テキスト				
<b>補助教材</b>	1,2 年次履修の「化学」教科書、プリント				
<b>参考書</b>	化学のレポートと論文の書き方 (化学同人)				

<b>A 科目の概要</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートは目的や内容によってその書き方はいろいろであり、企業、大学など研究機関によっても異なる。しかし、おおよそは決まった形式で書かれるべきものであり、良い例文を見習って書き、その形式に慣れることが大切である。本授業では実際に実験を行いながら、その実験に対するレポートを書く中で、基礎的な資料調査方法や実験レポートの書き方を習得する。</li> </ul>	
<b>B 到達目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>フローチャートの書き方を修得する。</li> <li>基礎的な資料の調査方法を修得する。</li> <li>実験レポートの書き方を修得する。</li> </ul>	
<b>C 長岡高専の学習・教育目標との対応</b>	
<b>D 履修上の注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「物質工学実験(一般)」と対の授業であり、実験とそれに対するレポートの作成を行うので、欠席しないことが重要である。</li> </ul>	
<b>E 評価基準</b>	
定期試験[0%] (前期中間(0), 前期末(0), 後期中間(0), 後期末(0)), その他の試験[0%]、レポート[100%]、その他[0%]	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	フローチャートの書き方	
2	実験ノートの書き方	
3	レポートの書き方、演習(ろ過)	
4	レポートの書き方、演習(蒸留)	
5	レポートの書き方、演習(水の電気分解)	
6	レポートの書き方、演習(アンモニアの生成、水とナトリウムの反応)	
7	レポートの書き方、演習(天秤の使い方)	
8	レポートの書き方、演習(マグネシウムの原子量測定)	
9	レポートの書き方、演習(硫酸銅溶液の電気分解)	
10	レポートの書き方、演習(アルコールとフェノールの性質)	
11	レポートの書き方、演習(中和滴定)	
12	レポートの書き方、演習(金属のイオン化傾向とボルタ電池)	
13	レポートの書き方、演習(炭水化物)	
14	レポートの書き方、演習(タンパク質とアミノ酸)	
15	発表・評価	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		